



[日本医師会綱領]

日本医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指します。

1. 日本医師会は、国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます。
2. 日本医師会は、国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築きます。
3. 日本医師会は、医学・医療の発展と質の向上に寄与します。
4. 日本医師会は、国民の連帯と支え合いに基づく国民皆保険制度を守ります。

以上、誠実に実行することを約束します。

日本医師会入会案内

公益社団法人 日本医師会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL 03-3946-2121(代表)

URL <https://www.med.or.jp/>

公式ホームページ



公式YouTubeチャンネル



LINE公式アカウント





日本医師会は、医師たる者はすべて医師会に入会してほしいと考えています。

たとえば、病気を予防して、多くの人が健康に暮らせるようにすること。
病気がなったり、けがをしたら、いつでもどこでも適切な医療を受けられるようにすること。

一人ひとりの医師が、知識や技術を存分に高め、安心して診療に従事できるようにすること。

そしてそれらのために、国や地方自治体に働きかけること。

これらのことを中心になって行っているのが我が国の医師を代表する唯一の団体である、医師会です。

医療が制度の上で成り立っている以上、より良い医療環境を実現していくためには、医療現場の声を医療制度の決定プロセスに反映させていくことが必要です。

医療現場を熟知する医師会員一人ひとりの医師会に対する後押しが、国民の医療を守り、医師がその職務を存分に全うできる環境の実現につながります。

国民皆保険のもとで、誰もが必要な医療を適切に受けられる環境を堅持していくためにも、医療を担う専門職の一人として、医師会員の一人となり、ともに日本の医療を支えていきませんか。



INDEX

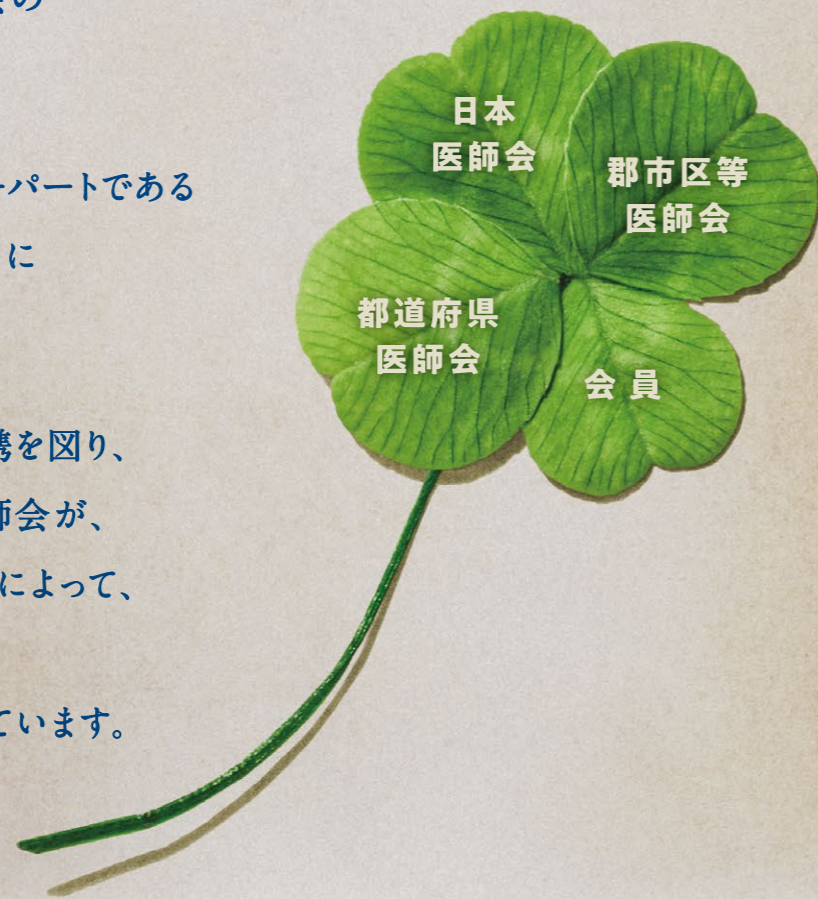
INVITATION	1
INDEX	2
日本で唯一医師を代表する団体	3
地域医療	5
医療現場の声を国に届ける	7
日本医師会は人生の道標	9
医師賠償責任保険制度	11
医師資格証 (HPKIカード)	13
認定産業医・認定健康スポーツ医	15
医師年金	17
医師国保	19
女性医師支援センター (日本医師会女性医師バンク)	21
生涯教育制度	23
学習支援	25
研究・表彰	27
入会のご案内・日本医師会 会費	29
都道府県医師会連絡先	30

日本で唯一 医師を代表する団体

医師会組織は、郡市区等医師会、
都道府県医師会、日本医師会の
3層構造になっています。

そして、各医師会のカウンターパートである
「市区町村」「都道府県」「国」に
対応しています。

3層の医師会が緊密なる連携を図り、
全国津々浦々に存在する医師会が、
それぞれの役割を果たすことによって、
「国民の生命と健康」を守り、
「医師の医療活動」を支援しています。



〔行政のカウンターパートとしての医師会〕

診療行為地域の医療・保健・福祉の向上に寄与



地域医療の最前線のベースを守る

地域医療の最前線で活動しているのが郡市区等医師会です。市区町村と協議を行いながら、学校健診や乳幼児健診、予防接種などの予防医療や、一次救急医療体制の維持などを行っています。また、医師会病院、老人保健施設、看護師等養成所、健診センター、訪問看護ステーションなどを運営している場合もあります。

都道府県民の健康を守る協議を行う

各都道府県の医療政策に基づき、都道府県民の健康を守るための各種協議会や啓発活動を行います。また、救急・災害医療に関する取り組みは都道府県医師会が主体となって行っている場合が多いです。さらに、都道府県医師会は大学との窓口にもなっており、学術・教育・研究部門の支援活動も行っています。

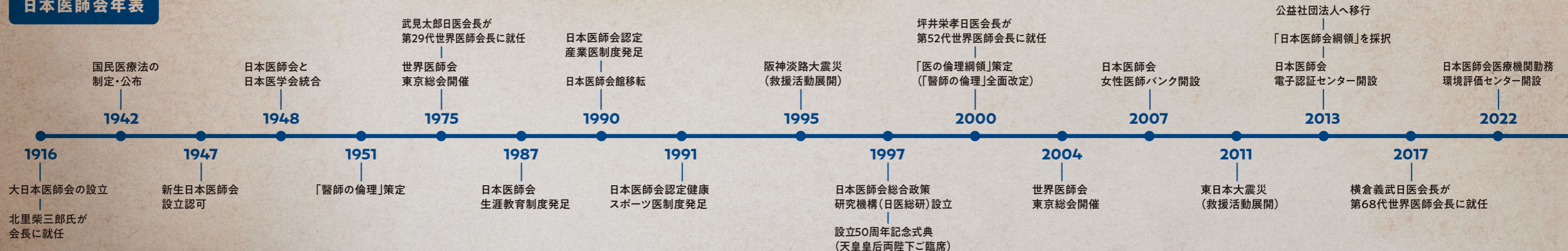
医師の代表として国に提言

医師を代表し、国・官公庁に対して医療政策に関する様々な諮問や提言を行っています。日本医師会内には、医療における様々な問題について議論する約50の委員会があります。さらに厚生労働省や内閣府を中心とした官公庁の審議会に役員が出席し、医療提供側からの意見を提出しています。

- *1 医師会員(177,383) / 開業医38.4%、勤務医等61.6%
- *2 都道府県医師会(47)
- *3 郡市区等医師会(822)、大学医師会(65) (令和6年12月1日現在)

国・都道府県・市区町村の3層構造

日本医師会年表



地域医療

一人ひとりの医師の活動には限界があります。
専門性をもつ多くの医師が医師会活動を通じて
地域を面として支えています。



高齢者施設

配置医師・嘱託医として
施設の高齢者の
健康を見守る

企業

産業医として
労働者の健康を守る

看護師・ 准看護師養成所

地域で働く看護職を
育成するために、
地域の医師会が運営

地域包括支援 センター

多職種連携で
地域の高齢者を支える

地域連携

基幹病院等と
かかりつけ医が
連携して医療を提供

休日夜間診療

初期救急を当番で担当
することで、基幹病院の
救急対応をサポート

地域医師会

地域の医師や
医療・介護関係者が集い、
より良い医療体制を検討

学校

学校医として
児童・生徒の
成長・健康を見守る

予防接種・ 健(検)診

疾病予防・早期発見の
ための、健(検)診・
予防接種体制確保

行政との連携

行政・医師会、
お互いの意見を調整して
政策を実施

警察

警察活動等への
協力

市民講座

地域住民への
医療啓発活動

災害時には、医療従事者の協力を
得て日本医師会災害医療チーム
JMAT*を結成し、多くの医療チー
ムを被災地に派遣しています。

*JMAT: Japan Medical Association Team



日本医師会は、医師個人を代表する唯一の団体として、医療現場の声を国に届けるために、日々活動しています。

皆様の声を届けるため、厚生労働省をはじめ、内閣府、内閣官房、文部科学省、環境省、国土交通省、経済産業省、消防庁、こども家庭庁など、14の省庁等にわたる約200の各種会議(令和6年12月1日現在)に参画しています。

また、医療現場の声を要望書などの形に取りまとめ、関係各方面に働きかけています。

様々なステークホルダーが参画する医療制度の決定プロセスに、医療界の意見を反映し、より良い医療環境を実現していくためにも、医師会の一員となり、皆様の声をお聞かせください。

医療現場の声を国に届ける

日本医師会は 人生の道標として、 会員の皆様に寄り添い続けます。



医師が心身ともに健全に、その職責を存分に発揮してもらえよう環境整備にも取り組んでいます。 P14

医師賠償責任保険制度

日本国内であれば勤務先にかかわらず補償されます

医学部卒業後5年間は
会費免除



会員特典として
年間**15,000円**
で医賠責保険に加入できます。

※ただし、病院や診療所の開設者・管理者等や30歳超は掛金が異なります。

万が一、会員の医療事故により民事上の紛争が起こってしまった場合、会員が安心して医療活動に専念できるよう、日本医師会・都道府県医師会・市区等医師会・保険会社が全面的に協力して紛争解決にあたります。また、産業医・学校医等の活動に対する補償も付帯されていますので、とても安心です。

医師賠償責任
保険制度
の詳細はこちら



万全なサポート体制

STEP-1 賠償責任の有無や賠償額を専門の機関が判断

医師賠償責任保険には医療・法律の専門家による中立的な調査・審査機関が事案を1つ1つ調査し、中立・公正な判断を行います。

STEP-2 交渉や訴訟を全面的にサポート

交渉や訴訟など、解決まで弁護士の手配等、会員ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、医師会が全面協力します。

充実の補償額

STEP-1 1事故につき1億円まで補償

支払限度額は、1事故につき1億円、保険期間中3億円が補償されます(ただし、免責金額は100万円です)。

STEP-2 更に高額の補償を希望する方に

特約保険に加入することにより、1事故につき3億円、保険期間中9億円の補償にグレードアップすることができます。

幅広い補償範囲と付帯サービス

STEP-1 日本国内のどの医療機関での医療行為も補償

日本国内であれば非常勤を含め、どの医療機関で診療等の医療行為を行う場合であっても補償されます。

STEP-2 付帯されるサービスが充実

産業医・学校医等の医師活動賠償責任保険および医療通訳サービスが自動付帯されています。

医事紛争から医師を守る
強力なサポート体制が
あります。

医療事故が起こってしまったとき、あなたを強力にバックアップします。

日医ペイハラ・
ネット相談窓口

日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書込み相談窓口

医療機関および医療者に対するペイシェントハラスメントや、ネット上における誹謗中傷を受けた場合に、日本医師会会員が利用できる相談窓口を開設しています。相談はWEBフォーム(24時間)・電話(平日9時~18時)で受け付けています。

日医ペイハラ・ネット相談窓口
の詳細はこちら



医師として働くために必要なカード

医師資格証(HPKIカード)

会員の
発行料・
更新料は
無料!



デジタル化する医療に 対応する カードがあります。

医師資格を証明するHPKIカードは
医療DXに対応する様々なシーンで必要となるカードです。

医師資格証(HPKIカード) 日医会員の発行料/5年ごとの更新料は無料です。(非会員は各5,500円)

HPKIは保健医療福祉分野の公開鍵基盤(Healthcare Public Key Infrastructure)の略称で、厚生労働省が所管する医療系国家資格を電子的に証明する厚生労働省の情報基盤です。日本医師会が発行する医師資格証は、この制度のもとに発行される医師の資格を証明できる顔写真付きのICカードです。これによって、電子の世界でも、現実世界でも、医師資格を持った医師本人であることを証明できます。現在導入が進められている電子処方箋を医師が発行するためには、医師資格証(HPKIカード)によるHPKI電子署名が必要になります。

※紛失・破損等による再発行の場合は5,500円がかかります。



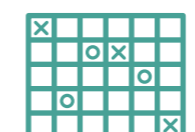
身分証明証として

救急災害時やボランティア活動時など医師資格証を提示することで医師であることを証明できます。



HPKI電子署名

処方箋や紹介状など、医師が作成したことを証明する必要がある書類を電子的に作成した場合には、HPKI署名を付与することで、本人であり、医師であることを公的に証明することができます。



出欠管理として

講習・研修会の受講管理や取得単位の確認等に利用できます。



認証(通行証)として

電子カルテや地域医療連携ネットワークなどの医療情報を閲覧する場合、ID/パスワードの代わりに、医師本人であることを認証する電子的な通行証として使うことができます。

医師資格証(HPKIカード)
の詳細はこちら



医師の 健康支援

医師の働き方改革

2024年4月から医師の時間外労働時間の規制により、時間外・休日労働の上限が原則960時間以内になりました。日本医師会は働き方改革に対し、医師の健康確保はもちろんのこと、地域医療の継続性および医学・医療の質の維持・向上を同時に図るべく、取り組んでいます。



医療機関勤務環境評価センター

医療機関に時間外・休日労働時間の上限が年960時間を超える診療に従事する医師がいる場合、医療機関勤務環境評価センターの評価を受け、都道府県の指定を受けなければなりません。日本医師会は、厚生労働省の指定を受け、同センターを運営する中で、医療機関における医師の労働時間短縮のための取り組みの評価および管理者への必要な支援を行い、良質かつ適切な医療を提供する医療機関と勤務医の先生方をサポートしています。

水準	長時間労働が必要な理由	年の時間外・休日労働の上限時間
A水準	(臨時的に長時間労働が必要な場合の原則的な水準)	960時間
連携B水準	地域医療の確保のため、派遣先の労働時間を通算すると長時間労働となるため	1,860時間 (各院では960時間)
B水準	地域医療の確保のため	1,860時間
C-1水準	臨床研修・専攻医の研修のため	1,860時間
C-2水準	高度な技能の修得のため	1,860時間

厚生労働省「いきサポ」
の詳細はこちら



勤務医の健康支援
の詳細はこちら



認定産業医・認定健康スポーツ医

認定産業医・認定健康スポーツ医の特長



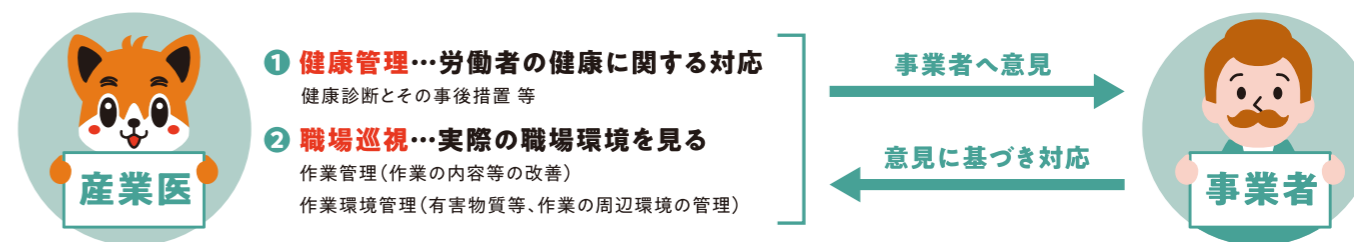
日本医師会が認定する、 地域住民の健康を支える ための制度があります。

日本医師会認定産業医・日本医師会認定健康スポーツ医は
日本医師会が認定する資格の中でも大切な資格です。

日本医師会認定産業医

産業医とは、事業場において労働者の健康管理等について、専門的な立場から指導・助言を行う医師を言います。労働安全衛生法により、常時勤務する労働者が50人以上の事業場には産業医の選任が義務づけられています。日本医師会の認定産業医は、法令に定められた産業医の要件の一つとして認められています。

産業医の職務



日本医師会認定産業医の取得と更新

所定のカリキュラムに基づく産業医学基礎研修50単位以上を修了した医師、または、それと同等以上の研修を修了したと認められる医師に、申請に基づき日本医師会認定産業医の称号を付与し、認定証を交付します。この認定証は、有効期間5年間に、産業医学生涯研修20単位以上を修了した医師について更新ができます。



日本医師会が行う産業医研修会

日本医師会では、1965年より産業医の資質向上を目指して「産業医学講習会」を実施しており、3日間の開催で産業医学生涯研修16.5単位が取得できます。

受講料 15,000円(日医会員)
27,000円(日医会員以外)

日本医師会認定産業医
の詳細はこちら



認定産業医の手引
はこちら



日本医師会認定健康スポーツ医

日本医師会認定健康スポーツ医とは日本医師会が研修を行い、スポーツ競技者だけでなく一般の方を含めた健康増進を目的に認定される資格です。地域保健の中でのスポーツ運動指導・運動処方、産業医活動の中での指導などといった役割を担っています。

日本医師会認定健康スポーツ医の取得と更新

日本医師会および都道府県医師会が行う講習会(前期13単位・後期12単位)を修了した医師、または、日本整形外科学会認定スポーツ医・日本スポーツ協会公認スポーツドクター等の資格や研修を修了した方の申請に基づき日本医師会認定健康スポーツ医の称号を付与し、認定証を交付します。この認定証は、有効期間5年間に、健康スポーツ医学再研修5単位以上を修了した医師について更新ができます。



日本医師会が行う健康スポーツ医学講習会

日医会員であれば、会員価格で受講することができます。

健康スポーツ医学講習会(新規)
前期・後期 各10,000円(日医会員)
前期・後期 各18,000円(日医会員以外)

健康スポーツ医制度再研修会(更新)
5,000円(日医会員)
9,000円(日医会員以外)

日本医師会認定健康スポーツ医
の詳細はこちら



認定健康スポーツ医の手引
はこちら



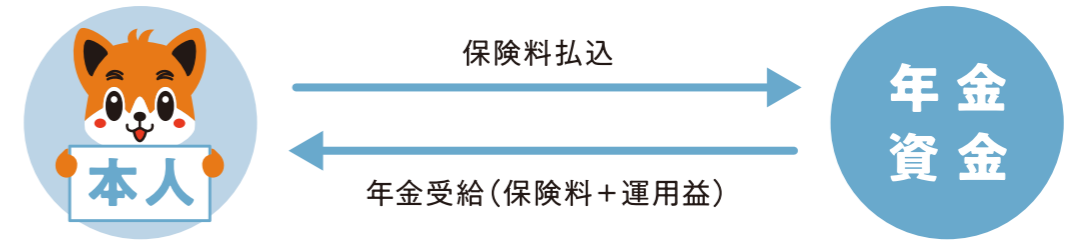
医師年金



医師のライフスタイルに合わせた自由な設計が可能です。

人生100年時代を見据えて一生涯続き、ご自身のライフスタイルに合わせて自由に設計ができる年金です。

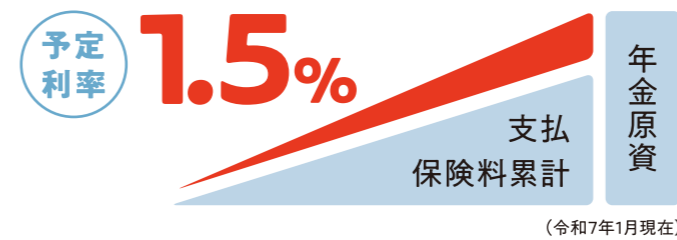
払い込んだ保険料を日本医師会が運用し、その資金を終身年金として受け取れます



自分の年金を自分で積み立てる。

公的年金は基本的に現役世代が支払った保険料を高齢者の年金給付に充てるという考え方で運営されていますが、医師年金はご自身が払い込んだ保険料がそのまま年金原資となって運用され、将来自分に年金として給付されることになります。また、私的年金であるため、勤務先が変わっても日本医師会の会員である限り継続して加入することができます。

医師年金の予定利率は1.5%、しかもローコスト！

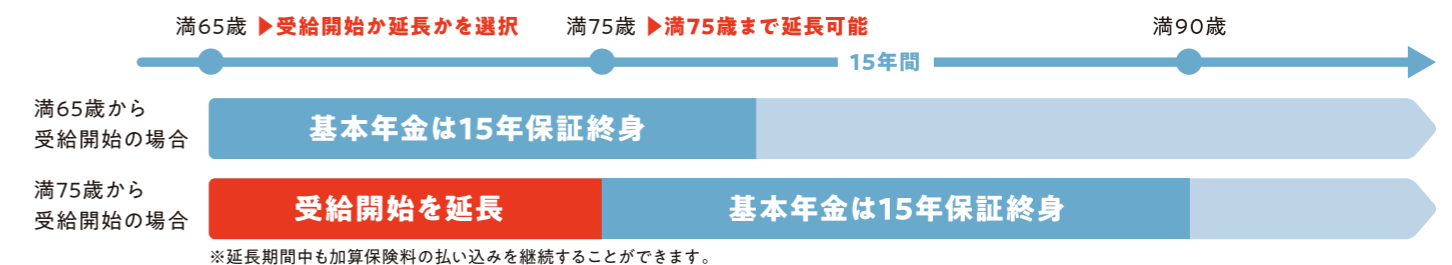


医師年金のコストは保険料の0.25%の手数料だけです。わずかな手数料を控除後、年率1.5%で年金原資が積み上がります。年金は人生100年時代にふさわしく、一生涯受け取っていただけます。万が一加入された先生ご本人が亡くなっても、ご遺族が年金を受け取れる保証期間があります。

保険料には基本年金保険料と加算年金保険料があります

基本年金保険料 月払 ▶ 12,000円 または 年払 ▶ 138,000円 または 一括払 ▶ 払込年齢に応じた基本年金保険料の一括払ができます。	+	加算年金保険料 月払 ▶ 一口 6,000円 ※回数・金額の上限なし 任意の払い込みですので、月払・随時払は併用も可能です。 随時払 ▶ 一口 10万円 ※回数・金額の上限なし ※加算年金保険料はいつでも自由に増減できます(金額の上限なし)。
--	---	--

受給開始時期を満75歳まで延長できます



医師の年金について考えてみよう



日本医師会公式YouTube 「医師のための年金概要」



医師年金の詳細はこちら



医師国保



Insurance Premium

医師には 独自の健康保険組合が あります。

所属する都道府県医師会員を組合員として運営する
医師国民健康保険組合です。
市町村国保とは異なり、組合独自の事業を行っています。

医師国民健康保険組合(医師国保組合)

医師国保組合の保険料算定は、市町村国保の所得を基礎とした賦課算定とは異なり、独自の賦課算定で運営しているのが特徴です。

メリット①

医師と家族、組合員に
雇用される従業員が
加入可能です。

メリット②

保険料は、概ね
市町村国保より低い設定と
なっております。

メリット③

市町村国保にはない
独自の付加給付や
保健事業があります。

加入対象となる方々



- ・開業を予定されている方(従業員5人未満)
- ・大学院生や子育てのため常勤を離れる場合の方

※なお、ご加入にあたりましては、各都道府県医師国保組合にお問い合わせください。

医師国保
の詳細はこちら



日本医師会 会員限定割引ホテル ON LINE 予約サービス

日医には
こんな特典も
あるよ!

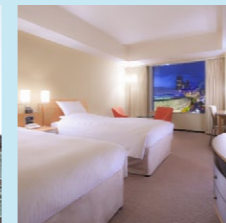


全国28のホテルおよびホテルチェーンの協力を得て、宿泊割引制度を実施しています。一部のホテルでは、臨床研修医向けの優待プランやレストラン・婚礼割引プランもありますので、ご利用ください。

<ホテル及びホテルチェーンの例>



東京ステーションホテル



東京ドームホテル



ルートインホテルズ



JR西日本ホテルズ*



阪急阪神第一ホテルグループ*



ワシントンホテルズ*

*臨床研修医向け優待プランあり

<都内ホテル>

- アンダーズ東京
- The Okura Tokyo (旧ホテルオークラ東京)
- 帝国ホテル東京・大阪

● ハイアットリージェンシー東京

- ホテル椿山荘東京
- ホテル虎ノ門ヒルズ
- ホテルニューオータニ
- リーガロイヤルホテル東京

<ホテルチェーン>

- オークラニッコーホテルズ
- JR東日本・JR東海ホテルズ
- JR西日本ヴィアインホテルズ
- 住友不動産ヴィラフォンテーヌ

● 東急ホテルズ&リゾート

- パレスホテルグループ
- 藤田観光リゾート
- プリンスホテルズ&リゾート
- ホテルトラスティ

女性医師支援センター

(日本医師会女性医師バンク)

女性医師の働きやすい環境づくりを実現。



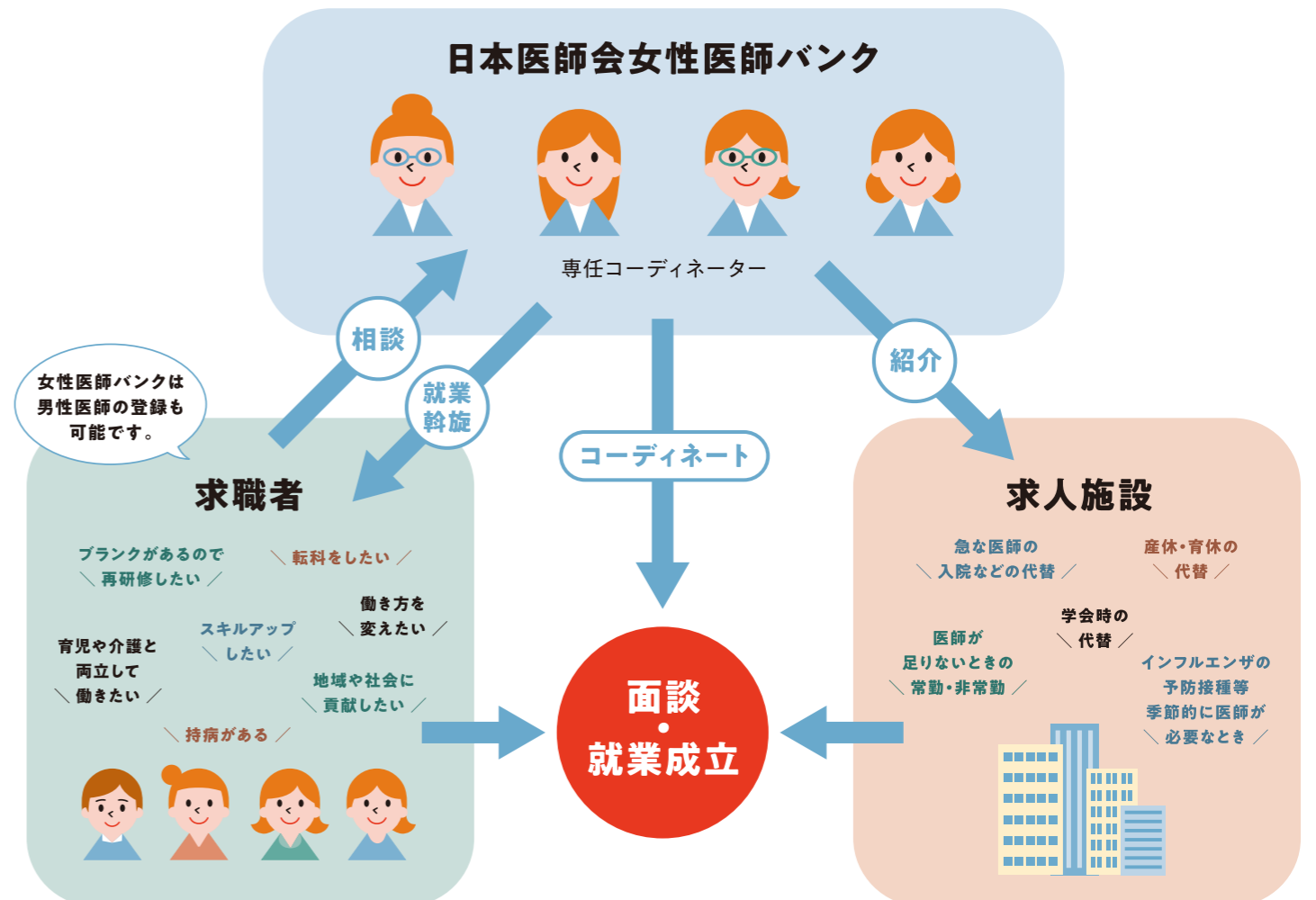
女性医師の ライフステージに合わせて 支援する仕組みがあります。

ライフステージに応じて働くことのできる
柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図り、
女性医師が生涯安心して働ける環境づくりを目指しています。

女性医師支援センター

日本医師会女性医師支援センターは、平成18年より厚生労働省からの委託を受け、女性医師のライフステージに応じた就業支援をはじめ、様々なアプローチでその活躍をサポートしています。また、医師に対する時間外労働の上限規制への対応を進めながら、女性医師に限らない人材確保を行っています。

サポート① 女性医師バンク事業／日本医師会女性医師バンク	サポート② 再就業講習会事業
<p>日本医師会女性医師バンクは、厚生労働省の指定を受けた“無料”の職業紹介事業所です。 就業希望条件にあった医療機関を紹介し、就業までの間の支援を行っています。 また、再就業後も継続して勤務できるよう支援を行うとともに、より働きやすい環境の整備も推進しています。</p>	<p>都道府県医師会等との共催により「医学生・研修医等をサポートするための会」、「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」、「地域における女性医師支援懇談会」を開催しています。 そのほか、育児中の医師の学習機会の確保を目的として、各医師会が主催する講習会等への託児サービス併設の推進・補助も行っています。</p>



女性医師バンクは男性医師の登録も可能です。

女性医師支援センター
の詳細はこちら



女性医師バンク
の詳細はこちら



生涯教育制度



医師のプロフェッショナルリズムを支える制度・サービスがあります。

医師は生涯にわたり自己研鑽に励み、患者さんとの信頼関係を醸成し、最善の医療を提供することが求められています。

生涯教育制度

生涯教育制度は医師の研修意欲を高めること、そして医師が勉強に励んでいる実態を示すことで社会からの信頼を増すことを目的としています。連続した3年間の単位数(30分で0.5単位)とカリキュラムコード数の合計数を60以上取得することにより「日医生涯教育認定証」が発行されます。

[単位・カリキュラムコードの取得方法]

- 1 日本医師会雑誌を利用した解答(日本医師会員のみ)
- 2 日医e-ラーニングによる解答(日本医師会員のみ)
- 3 講習会・講演会・ワークショップ等
- 4 医師国家試験問題作成
- 5 臨床実習・臨床研修・専門研修制度における指導
- 6 体験学習(共同診療・病理解剖見学・手術見学等の病診・診診連携の中での学習等)
- 7 医学学術論文・医学著書の執筆



日医生涯教育認定証

生涯教育制度の詳細はこちら



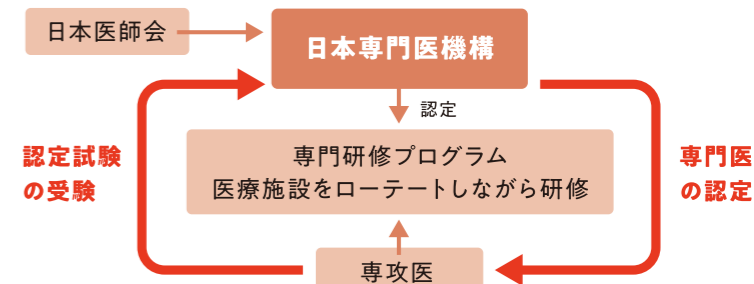
日医e-ラーニング 日本専門医機構認定共通講習が受講できます

「日医e-ラーニング」は、インターネット上で日本医師会生涯教育制度における単位・カリキュラムコードが取得できる日本医師会員向けの教育コンテンツです。配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて80%の正答率を得ることによって、指定されたカリキュラムコードと単位が取得できます。「日医e-ラーニング」の一部コンテンツでは、日本専門医機構が認める専門医共通講習の一部の単位が取得できます。日本医師会員のみが受講できる学習教材であり、専門医共通講習の単位取得に大きなメリットとなっています。



医学・医療の質の維持・向上にむけて

日本医師会は我が国の医学・医療の発展に尽くしています。たとえば、専門医になるためには、「日本専門医機構」が認定した研修プログラムを履修することになりますが、同機構には日本医師会の役員が参画し、より良い制度の実現に向けて取り組んでいます。

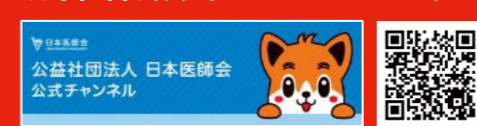


国民向けの

日本医師会は国民の生命と健康を守るため、日々新しい情報を国民向けに発信しています。



日本医師会公式YouTubeチャンネル



日本医師会LINE公式アカウント



学習支援



地域住民から信頼される
「かかりつけ医機能」の能力を
維持・向上する研修があります。

また、医師の学習に欠かせない電子書籍配信サービスや豊富な資料で、学習・研究活動をサポートします。

日医かかりつけ医機能研修制度

日本医師会では、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけています。本研修制度は、今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修制度です。

[かかりつけ医機能]

- ① 患者中心の医療の実践
- ② 継続性を重視した医療の実践
- ③ チーム医療、多職種連携の実践
- ④ 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
- ⑤ 地域の特性に応じた医療の実践
- ⑥ 在宅医療の実践

[かかりつけ医機能研修制度]

基本研修

日医生涯教育認定証の取得

応用研修

日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区等医師会が主催する研修等の受講

実地研修

社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践



日医Lib(日本医師会e-Library)

日医Libは学術に特化した電子書籍配信サービスです。現在、機関誌である日医雑誌をはじめとする各種の出版物など約1,600冊を収録しており、都道府県医師会コーナー、研修医・医学生コーナー等が設置されているほか、一部一般公開も行っています。利用者は日医Libアカウントを取得後にタブレット・スマートフォン・パソコンなど、ご自身のデバイスへ豊富な出版物の中から必要なコンテンツを取り込み、論文・専門書に最適化されたビューワーで閲覧することができます。



日医かかりつけ医機能研修制度
の詳細はこちら



日医Lib
の詳細はこちら



LIBRARY 日本医師会医学図書館

日本医師会の会員のための図書館はいつでもどこからでもご利用いただけます

豊富な資料と充実した図書館ネットワークで
学習・研究活動をサポートします

- 学会誌、医学専門誌、海外の主要な医学雑誌
- 国内外の書籍、診療ガイドライン ● 研究報告書、政府統計 など



※Web、FAX、郵便による申込
※複写などは郵送等で提供



日本医師会HPメンバーズルームには、各サービスの申込みフォームとあわせて雑誌特集テーマや新着図書のご案内、蔵書検索などを掲載しています。

日本医師会医学図書館
の詳細な利用案内はこちら



研究・表彰



医学の研究を顕彰しています。 また、国際的な研究・ 高度研修制度もあります。

医学の発展に貢献した方、将来性に富む研究を
実践している方を顕彰しています。

また、中堅医師の国際的な研究・高度研修プログラムがあります。

日本医師会医学賞・日本医師会医学研究奨励賞

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会において選考のうえ、医学賞は4名、奨励賞は15名に授与しています。

〔日本医師会医学賞〕

日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげた者に授与しています。過去には、ノーベル賞を受賞した山中伸弥先生、本庶佑先生も受賞されています。

毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)・臨床医学(外科系)の各部門を通じ計4名に授与しています(副賞は1名500万円です)。



〔日本医師会医学研究奨励賞〕

日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っている者に授与しています。

毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)・臨床医学(外科系)の各部門を通じ計15名に授与しています(副賞は1名150万円です)。



ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院武見国際保健プログラム

ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院武見国際保健プログラムは、医療資源の開発と配分を提唱した、武見太郎元日本医師会長の構想に着目したハーバード大学が、日本医師会の協力のもと、1983年に設立した中堅の専門家のための学際的研究プログラムです。これまでに60カ国以上約330名の武見フェローを輩出し、各国の大学、官民研究所、政府保健当局、非政府組織、国際機関といった国際保健の第一線で活躍するなど、その国際ネットワークは世界中に広がっています。同プログラムに参加した武見フェローの専門は、経済学、栄養学、看護学、医学教育、地域医療、疫学、生命倫理学、医療サービスの利用、感染症、社会学、救急医療、医療保険、労働衛生、政策学など多岐にわたっています。



JMA Journal

ジャーナル・インパクトファクター(JIF)を取得!

英文オンラインジャーナル『JMA Journal』は、日本医師会が日本医学会との協力で発行しているオープンアクセスの総合医学雑誌です。掲載論文は医学、医療全般をカバーし、医療政策やオピニオンを含む幅広い分野について、国内外の医学研究者、その他医療従事者からの投稿を受け付けています。投稿料・掲載料は当面無料です。査読後、受理された論文から速やかに早期公開されます。J-Stage、PMC、ESCIに収録されており、2023年に初のJIFを取得し、諸外国からのアクセスも年々増加しています。



医学賞・奨励賞
の詳細はこちら



武見プログラム
の詳細はこちら



JMA Journal
の詳細はこちら



医師会に入会するには？



医学部卒業後5年間の 会費は免除!

多くの若手医師に入会いただけるよう、医学部卒業後5年間は、会費が免除になるほか、15,000円で日本医師会医師賠償責任保険に加入できます。

※会費の免除は所定の手続きが必要です。また、病院や診療所の開設者・管理者等や30歳超は掛金が異なります。

医師会入会のフロー

入会手続きは、お手持ちのスマートフォンやパソコン等から、「医師会会員情報システム(MAMIS: マミス)」を通じて、簡単に行うことができます。

STEP1
MAMISに
アクセス



MAMIS内に
マイページを
作成



MAMIS HP

入会先の郡市区
等医師会を
日本医師会ホーム
ページで検索



医師会検索HP

※原則、勤務先(または住居先)を所管する郡市区等医師会を通じて入会手続きを行います。ご不明な点がございましたら、当該医師会までお問い合わせください。

STEP2
MAMISから
入会申請

マイページから、STEP1で確認した
郡市区等医師会に入会申請



手続きは
Webで簡単!

MAMISで簡単に申込、便利な機能がいっぱい! (2025年4月から)

- 各種研修会の申込が可能
- 認定産業医、認定健康スポーツ医の新規または更新申請が可能
- 各種研修会等の修了証、参加証、認定証の出力が可能
- 日本医師会生涯教育制度、認定産業医、認定健康スポーツ医、日医かかりつけ医機能研修制度等の単位取得状況の確認が可能 etc.

日本医師会入会案内
の詳細はこちら



日本医師会 会費

会員区分	年額
A①会員 (病院・診療所の開設者、管理者及びそれに準ずる会員)	126,000円
A②(B)会員 (A①会員、A②(C)会員以外の会員)	31歳以上 64,000円
	30歳以下 39,000円
A②(C)会員 (医師法に基づく研修医)	21,000円
B会員 (A②(B)会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員)	28,000円
C会員 (A②(C)会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員)	6,000円

会費減免適用後

減免区分	加入内容	年額
高齡減免 (年齢が83歳以上で日本医師会に20年以上在籍している会員)	医師賠償保険加入	A① 78,000円 A②(B) 48,000円
	医師賠償保険に加入しない	A①、A②(B)、B 0円
疾病等減免 (疾病、出産育児、医学部卒業後5年間(年度単位))	医師賠償保険加入	A① 66,000円 A②(B)(31歳以上) 36,000円 A②(B)(30歳以下) 15,000円 A②(C) 15,000円
		医師賠償保険に加入しない

都道府県医師会連絡先一覧

北海道医師会	電話: 011-231-1432	滋賀県医師会	電話: 077-514-8711
青森県医師会	電話: 017-723-1911	京都府医師会	電話: 075-354-6101
岩手県医師会	電話: 019-651-1455	大阪府医師会	電話: 06-6763-7000
宮城県医師会	電話: 022-227-1591	兵庫県医師会	電話: 078-231-4114
秋田県医師会	電話: 018-833-7401	奈良県医師会	電話: 0744-22-8502
山形県医師会	電話: 023-666-5200	和歌山県医師会	電話: 073-424-5101
福島県医師会	電話: 024-522-5191	鳥取県医師会	電話: 0857-27-5566
茨城県医師会	電話: 029-241-8446	島根県医師会	電話: 0852-21-3454
栃木県医師会	電話: 028-622-2655	岡山県医師会	電話: 086-250-5111
群馬県医師会	電話: 027-231-5311	広島県医師会	電話: 082-568-1511
埼玉県医師会	電話: 048-824-2611	山口県医師会	電話: 083-922-2510
千葉県医師会	電話: 043-242-4271	徳島県医師会	電話: 088-622-0264
東京都医師会	電話: 03-3294-8821	香川県医師会	電話: 087-823-0155
神奈川県医師会	電話: 045-241-7000	愛媛県医師会	電話: 089-943-7582
新潟県医師会	電話: 025-223-6381	高知県医師会	電話: 088-824-8366
富山県医師会	電話: 076-429-4466	福岡県医師会	電話: 092-431-4564
石川県医師会	電話: 076-239-3800	佐賀県医師会	電話: 0952-37-1414
福井県医師会	電話: 0776-24-0387	長崎県医師会	電話: 095-844-1111
山梨県医師会	電話: 055-226-1611	熊本県医師会	電話: 096-354-3838
長野県医師会	電話: 026-219-3600	大分県医師会	電話: 097-532-9121
岐阜県医師会	電話: 058-274-1111	宮崎県医師会	電話: 0985-22-5118
静岡県医師会	電話: 054-246-6151	鹿児島県医師会	電話: 099-254-8121
愛知県医師会	電話: 052-241-4136	沖縄県医師会	電話: 098-888-0087
三重県医師会	電話: 059-228-3822		

(令和6年12月1日現在)

日本医師会の刊行物



【日本医師会雑誌】

月1回発行され、会員に配布される機関誌。年に2回特別号も発行しています。



【日医ニュース】

月2回発行され、会員に配布される医政の分野を扱うニュースレターです。